

【戸塚区】令和3年第1回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和3年2月5日 14時30分～16時10分
場 所	戸塚区総合庁舎8階大会議室（Web会議）
出席者	<p>【座 長】鈴木太郎議員</p> <p>【議 員：5名】中島光徳議員、岩崎ひろし議員、山浦英太議員、 伏見幸枝議員、坂本勝司議員</p> <p>【戸塚区：20名】吉泉英紀区長、武井和弘副区長、 里見正宏福祉保健センター長、内田沢子福祉保健センター担当部長、 中島高志土木事務所長、佐藤重義戸塚消防署長 ほか関係職員</p>
議 題	令和3年度個性ある区づくり推進費戸塚区予算案について
発言の 要 旨	<p>中島議員：3ページ「区民活動支援事業」について、市民協働条例により市民から協働の提案を受け、事業化した内容を教えてほしい。</p> <p>岩崎地域振興課長：戸塚区では区民活動支援センターを設置し地域の団体に業務委託しているが、令和3年度は、従来の区内の施設間連携を生かし、それぞれの施設でICTを活用した事業講座などを展開するとの提案を受け、予算化している。</p> <p>中島議員：5ページ「『災害に強いまちとつか』に向けた防災・減災強化事業」で、建築局が「地域防災力向上マンション認定制度」を創設するが、今後区内で展開する予定はあるか。</p> <p>飯田総務課長：建築局の制度が始まり次第、状況に応じ活用を考えていきたい。</p>

中島議員：コロナ禍での対応としてデジタル環境の整備を進めているようだが、例えばWi-Fiを活用し、施設間で連携して行うような事業はあるか。

岩崎地域振興課長：Wi-Fi未整備や今後整備予定の施設もあるが、施設間連携を活用し、区民活動支援センターを中心にいろいろな事業を考えていきたい。

中島議員：12ページ「活気あるとつか商店街支援事業」で、「個人商店魅力アップ事業」の内容を伺いたい。

岩崎地域振興課長：商店会向けセミナーを地域の身近な会場で行い、講師を派遣している。

中島議員：コロナ禍での対応として、職場における感染症対策をする予定はあるか。

飯田総務課長：マスク、手指消毒、換気を徹底している。

吉泉区長：感染症対策はゴールがないので、随時前進しながら考えていきたい。この建物は機械空調で外気を取り込む設備が整っているが、労働安全衛生基準を意識しながら、自動ドアの開放やCO2メーターの活用なども行っている。また、ランチで使用する休憩スペースでも、アクリル板を設置するなどの対策を行っている。

岩崎議員：新年度の区づくり推進費の予算編成は、どういう視点で検討したのか。

吉泉区長：コロナ対策、医療崩壊の防止、経済の活性化をきちんと連立させるために、何ができるかということで検討した。具体的には、新しい生活様式への対応、減災、ICT・デジタル、環境という4つの視点を重要な柱に設定し、全ての施策においてこれまでの経過も踏まえながら予算編成を行った。

岩崎議員：5 ページ「『災害に強いまちとつか』に向けた防災・減災強化事業」で、「防災・減災啓発の実施」が増額されている理由は何か。また「災害医療体制整備事業」の医療救護隊はどのようなものか。

飯田総務課長：「防災・減災啓発の実施」の増額は、県の土砂災害警戒区域の確定に伴うハザードマップの改訂による。あわせて、ツイッター等で広報するための経費も計上した。

松本福祉保健課長：医療救護隊は、医師、薬剤師、看護師、それから区職員から派遣する業務調整員をもって構成し、主に地域防災拠点での軽易な医療活動と被害状況等の把握を任務とする。この医療救護隊の運用を強化するための資器材の整備について、予算を計上した。

岩崎議員：6 ページ「交通安全・放置自転車対策事業」が減額されているが、路面標示の改修に必要な「スクールゾーン対策」の予算を確保しなくて大丈夫なのか。

岩崎地域振興課長：「スクールゾーン対策」は減額しているが、エリアごとに順次更新している電柱の緑の「文」マークの更新枚数が減ったことに伴うもので、路面標示等の金額は変わっていない。

天野土木事務所副所長：あんしんカラーベルトは道路局予算により土木事務所で敷いているが、昨年並みと聞いている。

岩崎議員：6 ページ「誰もが安全・安心に利用できる区民利用施設環境整備事業」では、何を改善するのか。

岩崎地域振興課長：戸塚センタースロープのすべり止め、舞岡地区センターの多目的トイレ、エレベーターの案内サインの改善、施設照明のLED化、台風被害等の緊急対応を予定している。

岩崎議員：14 ページ「歴史を活かしたまちづくり事業」で、取組方針とはどのような内容になるのか。

武区政推進課長：今までは旧東海道を中心に取り上げてきたが、それ以外にも区内には大山道など、歴史的価値の高い資源があるので、地元の協議会の方々と協力しながら、これまで以上に幅広く取組の方針を策定したい。

岩崎議員：16 ページ「身近で親しみのある区役所づくり事業」で、区役所は何か困った時の相談窓口を期待されることもあるが、そのために戸塚区で日頃から取り組んでいる内容を伺いたい。

吉泉区長：区役所の取組を日頃から情報を発信し続けることが、区民が困った際にご相談いただけることにつながると考えており、16 ページ「区民に身近な広聴・効果的で分かりやすい広報事業」にもあるように、様々なメディア・ツールを用いた情報提供、特にツイッターによる発信を強化している。区役所の情報を知っていただき、そして活用していただけてこそ価値が出てくるので、こうした広報活動にはさらに力を入れていきたい。

山浦議員：10 ページ「子どもと家庭を支える虐待防止環境づくり事業」に関連して、児童相談所や児童家庭支援センターとのさらなる連携強化が必要だと思うが、情報共有はできているか。

上原こども家庭支援課長：区としても児童相談所、児童家庭支援センターと連携し、子どもたちの支援を進めていきたい。

山浦議員：「とつか秋葉塾送迎強化事業」で現在の定員数と、送迎による増加見込みを伺いたい。

上原こども家庭支援課長：明確な定員はないが、15 人から 20 人程度が適正と考えており、現状では 10 名超をお預かりしている。送迎は昨年 12 月から試行実施しているが、5 名程度にご利用いただいている。

山浦議員：16 ページ「区民に身近な広聴・効果的で分かりやすい広報事業」の「広聴事業」について、複数の局にまたがるような相談などは、実際にどのような対応をしているのか。

武区政推進課長：所管局、所管課がはっきりしない場合は、それぞれの所管とどのような対応ができるか調整した上で、広聴として回答を取りまとめて対応している。

山浦議員：地域の方々に地域課題の解決を求められたときに、所管局を案内するだけでなく、市民協働推進課とも連携し、区として市民協働による課題解決に誘導していくことも必要ではないか。

岩崎地域振興課長：市民協働推進課と地域振興課は密接な連携を取っている。地域活動の相談でも、一般的な相談事でも、区局で連携し、地域や関係団体の意見も踏まえながら、一緒になって考えていくというような体制を今後も確保していきたい。

伏見議員：9 ページ「子育て応援事業」について、両親教室はどのように拡充するのか。

上原こども家庭支援課長：妊婦の方の体力づくり、エクササイズなどの情報提供と、メンタルヘルスについての相談機会の提供を積極的に進めていく。

伏見議員：コロナ禍の下でも、両親教室等は人数制限などをしながら実施しているのか。

上原こども家庭支援課長：密を避けながら、何とか実施している。地域子育て支援拠点ととの芽でも両親教室を実施しており、来年度は開催回数を増やす予定。

伏見議員：産後うつ予防の取組では、助産師会や産婦人科医と連携しているのか。

上原こども家庭支援課長：産科医療機関、分娩機関との連絡会を設けており、必要に応じ双方向で情報共有している。

伏見議員：ベビーカーレンタルの活用状況を伺いたい。

上原こども家庭支援課長：1人用のベビーカーはご寄附いただいたものを入れ替えている。また、昨年末から新たに2人用のベビーカーも導入しているが、子育て応援ルームの利用自体が少なくなっており、月当たりのレンタルは30件程度で推移している。

坂本議員：コロナ禍での対応として、区役所でのリモートワーク、時差出勤などは実施しているか。

飯田総務課長：テレワークやフレックスタイムでの勤務も実施している。

坂本議員：最近の窓口の状況を伺いたい。

原戸籍課長：戸籍課登録担当では、8～10月頃は来庁者が非常に多かったが、緊急事態宣言などで最近では空いており、待ち時間も大幅に減少している。

坂本議員：最近自転車に乗っている方が多いのか、駅周辺の放置自転車が目立ってきている。継続して調査を行っているのか。

岩崎地域振興課長：巡視員による声掛けは、引き続き、戸塚駅周辺で週3回、東戸塚駅周辺で週2回行っている。

坂本議員：もし自転車利用者が増えているようであれば、半年間だけでも一時利用できる駐輪場を設けるなど対策が必要ではないか。

岩崎地域振興課長：このところずっと減少傾向で、放置自転車も非常に少なくなっている。一時保管場所の自転車の数も減少している。

	<p>坂本議員：柏尾川などの管理用通路に、クイックシートで距離や消費カロリーなどを標示すれば健康づくりにもつながると思うが、どう考えているか。</p> <p>松本福祉保健課長：コロナ禍の下でも健康維持できる施策が少しでもできるよう、管理者とも相談しながら、研究していきたい。</p> <p>坂本議員：14 ページ「戸塚駅周辺サイン改修・設置事業」は予算が大幅に減額されているが、もう完了したのか。</p> <p>武区政推進課長：周辺サインについての計画は今年度に策定した。新年度は建物を所管している管理者がそれぞれサインを整備するため、区役所では整備する必要がある 1 か所のみ予算計上している。</p>
備 考	